

## 1/10 マタイの福音書 3章 1-17節 「神の御霊が鳩のように」

小池 宏明 牧師

今週は、すべての福音書に記されている、主イエス様がバプテスマのヨハネから洗礼を受けられる場面に注目する。

### \*主の道を整える者

第一に、バプテスマのヨハネの働きは、主イエス様に至る道を整えることである。

ヨハネのメッセージは、2節「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから」。ヨハネは、なぜ、悔い改めるように命じて、悔い改めのバプテスマを授けていたのだろうか？ 3節「3:3 この人は、預言者イザヤによって「荒野で叫ぶ者の声とする。『主の道を用意せよ。主の通られる道をまっすぐにせよ』』と言われた人である。」これはヨハネが、生まれる前から主なる神様によって与えられている使命であった。ヨハネは、その使命を受けて、全うするために働いた。その働きは、悔い改めを勧めるメッセージであり、人々が告白する罪を受け止めて、聖めの儀式でもあるバプテスマ授けることであった。

ここで、大切なことは、救い主、イエス・キリストのもとに導かれて行く道を通して行くためには、自分の罪を認めて、自分の罪を告白して、悔い改めて、主なる神様の元に立ち帰る決断をすることが必要だ、ということだ。これはすべての人々に当てはまる真理である。

### \*聖霊と火のバプテスマを授ける者

二番目に救い主イエス・キリストの働きは、「聖霊と火で」バプテスマを授けることである。

聖霊と火のバプテスマとは、キリストによってもたらされる、祝福とさばきを意味する。すなわち、御霊の導きによって、悔い改める者（主なる神様に立ち帰る者）は、神の支配（神の愛と恵み）の中で守られる、という祝福に与ることができる。一方で、悔い改めない者（主なる神様に背き続ける者）は、義なる神のさばきに合って、永遠の滅びに至る。すべての罪咎を悔いて、もう一度人生をやり直す、生まれ変わる決断が求められている。

もう一つ、主イエス様の働きは、バプテスマのヨハネのもとにやって来て、バプテスマを受けられたように、私たちへの模範を示すためである。このことを根拠にして、歴史の（私たちの）教会は、聖礼典（聖なる儀式）として、洗礼式を執り行ってきた。

主イエス様は私のすべてを、そして、この世界も歴史もすべてをご支配なさっているさばき主である。私たちはやがて、自分の人生を清算しなければならない時が来る。誰一人、主の御目から逃れることはできない。主はあなたの心の中を全部、じっと見ておられる。正直に、主の御前に出て、自らの心の内を告白しよう。